

# 株主の みなさまへ

第14期 株主通信

2021年1月1日 ▶ 2021年12月31日



**RaQualia**  
innovators for life

証券コード：4579

ラクオリア創薬株式会社

## 株主のみなさま

# 企業価値が向上する 研究開発に取り組み、 非連続な成長を目指します



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。まずは、この度、新型コロナウイルス感染症に罹患されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。また、医療関係者をはじめ、感染症の拡大防止や収束に向けてご尽力いただいている方々に、改めて深謝申し上げます。

当社は、創業時から“innovators for life”をコーポレートスローガンとして、新薬の研究開発に取り組んでまいりました。今後も当社が、innovatorsであり続けるために、unmet medical needsを充足させる革新的医薬品を創出し続けることが最重要課題と考えております。

新しい経営体制のもと、神経疾患を重点領域に定め、革新的医薬品の創出による非連続な成長によって株主価値を追求してまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年3月

代表取締役 武内 博文

## 2021年度の業績総括

当事業年度は、HKイノエン社に導出した胃食道逆流症治療薬tegoprazan(テゴプラザン)の販売拡大に加え、Elanco Animal Health社のペット用医薬品の販売も堅調に推移し、上市品4品目(「K-CAB®」「GALLIPRANT®」「ENTYCE®」「ELURA®」)からのロイヤルティ収益が好調に推移しました。また、導出済みプログラムの開発も順調に進められ、タミバロテンや選択的ナトリウムチャンネル遮断薬等の進捗に基づくマイルストーン収入が得られたほか、P2X7受容体拮抗薬及びテゴプラザンでは導出先によるサブライセンス契約の締結により世界各国での開発に大きく弾みがつくこととなりました。さらに、TRPM8遮断薬及びナトリウムチャンネル遮断薬については、新たなライセンス契約を締結し一時金を得ました。

以上の結果、当社グループの2021年12月期連結累計期間の業績は、事業収益2,776百万円、営業利益

707百万円、経常利益863百万円、親会社株主に帰属する当期純利益755百万円となり、創業以来初の営業黒字を達成することができました。

## 2022年度の取り組み

2022年度12月期は、導出先企業による上市品の拡販によって、当社が受領するロイヤルティ収入の増加が期待できるほか、導出済みプログラムの開発の進展によるマイルストーン収入、さらにはサブライセンスを含むライセンス契約の締結による一時金収入をあわせて収益の確保を図ります。

研究開発では、2022年度からの3カ年計画において、成長ドライバー品目への戦略的な投資を通じて、恒常的に新薬を創出できる体制構築を目指します。テゴプラザンの臨床薬理試験の実施をはじめとして、将来の株主利益の最大化を目的として研究開発への投資を行います。

## TOPICS | トピックス

1~3月

- ▶ 旭化成ファーマ社からP2X7受容体拮抗薬のライセンス契約締結に伴う一時金を受領
- ▶ マルホ社からマイルストーン達成に伴う一時金を受領

4~6月

- ▶ エランコ社が動物薬ELURA®の米国販売開始
- ▶ HKイノエン社がテゴプラザンの第I相臨床試験を米国で開始
- ▶ シロス社からマイルストーン達成に伴う一時金を受領

7~9月

- ▶ あすか製薬社との共同研究の進展によりマイルストーン達成
- ▶ TRPM8遮断薬に関するライセンス契約をXgene社と締結

10~12月

- ▶ ナトリウムチャンネル遮断薬に関するライセンス契約を久光製薬社と締結
- ▶ HKイノエン社が、テゴプラザンの米国におけるサブライセンス契約を締結

# パイプラインの状況 (2021年12月31日現在)

## 主要な導出済みプログラム(ヒト)

→ : 2021年の進捗

プロジェクト名	導出先	主適応症	対象地域	前臨床	臨床開発			承認申請	承認	販売	
					フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3				
カリウムイオン競合型 アシッドブロッカー (P-CAB) テゴプラザン K-CAB®	HKイノエン社	胃食道逆流症ほか	韓国	○	○	○	○	○	○	● 販売中	
			中国	○	○	○	○	○	○	● 審査中	
			米国・カナダ	○	○	○	○	○	○	○	● 実施中 (米国ブレインツリー社にサブライセンス)
			モンゴル	○	○	○	○	○	○	○	● 承認済み
			東南アジア	○	○	○	○	○	○	○	● 審査中
			メキシコ	○	○	○	○	○	○	○	● 審査中 (新分子委員会)
タミバロテン	シロス社	骨髄異形成症候群 (MDS)	米国	○	○	○	○	○	○	● 実施中	
		急性骨髄性白血病 (AML)	米国	○	○	○	○	○	○	○	● 実施中
P2X7受容体拮抗薬	旭化成ファーマ社	神経障害性疼痛	全世界	○	○	○	○	○	○	● 完了 (米国リリー社にサブライセンス)	
TRPM8遮断薬	Xgene社	慢性疼痛	全世界 (除く日本)	○	○	○	○	○	○	● 準備中 (香港Xgene社にライセンス)	
ナトリウムチャンネル遮断薬	久光製薬社	慢性疼痛	全世界	○	○	○	○	○	○	● 準備中 (久光製薬社にライセンス)	

## 主要な導出済みプログラム(ペット)

プロジェクト	導出先	主適応症	対象地域	パイロット試験	ピポタル試験	承認申請	承認	販売	
EP4拮抗薬 GALLIPRANT®	エランコ社	変形性関節症(犬)	米国	○	○	○	○	○	● 販売中
			欧州	○	○	○	○	○	● 販売中
			日本	○	○	○	○	○	● 販売中
グレリン受容体作動薬 ENTYCE®/ELURA®	エランコ社	食欲不振(犬)	米国	○	○	○	○	○	● 販売中
		慢性腎疾患の体重減少管理(猫)	米国	○	○	○	○	○	● 販売中

HKイノエン社: HK inno.N Corporation (本社: 韓国ソウル)  
 シロス社: Syros Pharmaceuticals Inc. (本社: 米国マサチューセッツ州ケンブリッジ)  
 旭化成ファーマ社: 旭化成ファーマ株式会社 (本社: 東京都千代田区)  
 リリー社: Eli Lilly & Company (本社: 米国インディアナ州インディアナポリス)  
 ブレインツリー社: Braintree Laboratories, Inc. (本社: 米国マサチューセッツ州ブレインツリー)

Xgene社: Xgene Pharmaceutical Co. Ltd. (本社: 香港)  
 久光製薬社: 久光製薬株式会社 (本社: 佐賀県鳥栖市)  
 エランコ社: Elanco Animal Health Inc. (本社: 米国インディアナ州インディアナポリス)  
 マルボ社: マルボ株式会社 (本社: 大阪府大阪市)

# Column | コラム

## 胃酸分泌抑制剤 テゴプラザンの開発



韓国で販売中のK-CAB®製品ボトル

食物の消化に胃酸は欠かせません。しかし、その強い酸性により胃酸は我々の体を傷つけることもあります。

例えば、胃酸が食道に逆流すると、食道粘膜がただれる「びらん性胃食道逆流症(逆流性食道炎)」や、食道粘膜のただれがなく自覚症状のみの「非びらん性胃食道逆流症」が引き起こされ、食事が楽しめない、ぐっすり眠れない、仕事に支障が出るなど、生活の質(QOL)に様々な影響が生じます。

胃酸はプロトンポンプという仕組みによって胃の中に分泌されます。標準薬であるプロトンポンプ阻害薬(PPI)は、プロトンポンプの働きを抑えることで胃酸の過剰な分泌を防ぎますが、効果が出るまでに数日かかったり、十分な効果が出なかったりする患者さんもある、といった課題も残されています。

テゴプラザンは、カリウムイオン競合型アシッドブロッカー(Potassium-Competitive Acid Blocker: P-CAB)と呼ばれる新しいタイプの胃酸分泌抑制剤です。P-CABはPPIとは異なるメカニズムでプロトンポンプに作用し、より速やかかつより持続的に胃酸分泌を抑える薬として、韓国で販売されています。

P-CABの創薬研究はファイザー株式会社の中央研究所で始まりました。当社は、2008年の創業時にP-CABプロジェクトを引継ぎ、コード番号RQ-00000004の低分子化合物の研究開発を進め、2010年に韓国のCJ CheilJedang Corporation(現在のHK inno.N Corporation (HKイノエン社))に導出しました。その後、RQ-00000004はtegoprazan(テゴプラザン)と命名され、HKイノエン社による臨床開発を経て、2019年から韓国で製品名K-CAB®として販売されています。

当社は、これまでにテゴプラザンに関わられた全ての方に深く感謝するとともに、今後も引き続き、日本を含む世界各国の患者さまのQOL向上への貢献を目指して全力で取り組んでまいります。

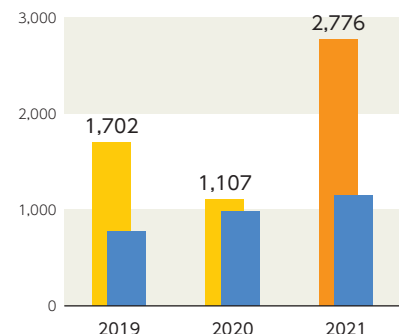
<b>導出先</b> HK イノエン社 (韓国)	<b>開発状況</b> 韓国で販売中。 27カ国で開発・承認申請中
<b>市場規模</b> 約2兆円 (胃酸分泌抑制剤・世界)	

(2022年3月1日現在)

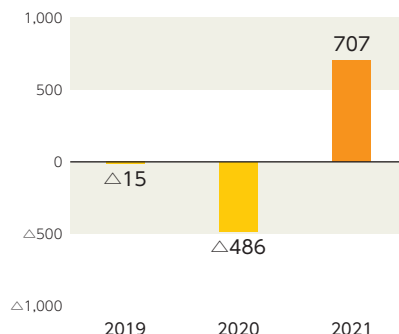
# 連結財務ハイライト

## 事業収益 (単位:百万円)

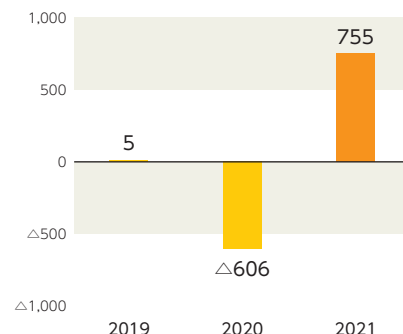
■ 事業収益 ■ ロイヤルティ



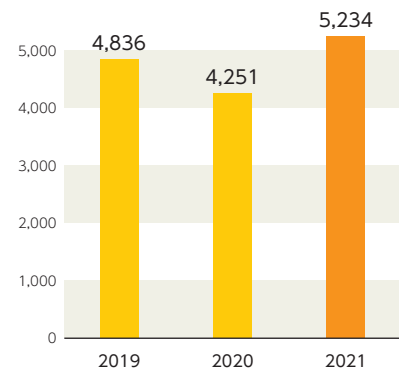
## 営業利益 (単位:百万円)



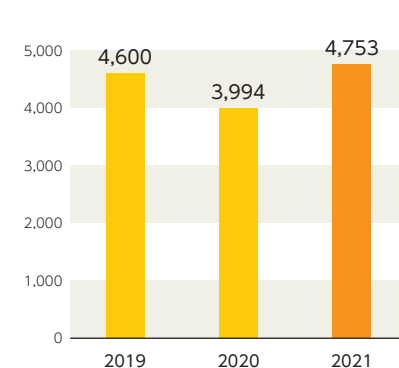
## 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



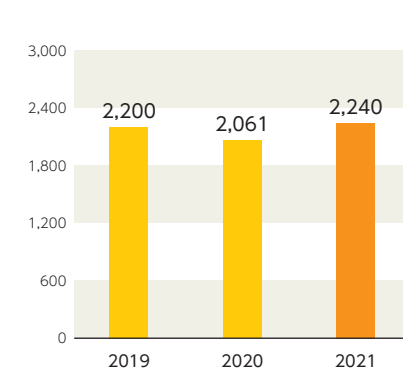
## 総資産 (単位:百万円)



## 株主資本 (単位:百万円)



## 現金同等物 (単位:百万円)



詳細情報は

<https://www.raqualia.co.jp/ir/>

# 株式の状況／会社概要 (2021年12月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数 37,068,800株  
 発行済株式の総数 20,955,142株  
 株主数 13,352名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
柿沼 佑一	2,384	11.38
株式会社SBI証券	950	4.54
MSIP CLIENT SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレー・MUFJ証券株式会社)	806	3.85
ファイザー株式会社	743	3.55
セントラル短資株式会社	580	2.77
auカブコム証券株式会社	181	0.87
松井証券株式会社	169	0.81
田名後 貴裕	166	0.79
植村 幸雄	145	0.70
株式会社エス・ビー・シー	121	0.58

## 会社概要

社名 ラクオリア創薬株式会社  
 所在地 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南一丁目21番19号  
 名駅サウスサイドスクエア8階  
 事業内容 医薬品の研究開発  
 医薬品、臨床開発候補品及びこれらに関わる基盤技術の知的財産の販売及び使用許諾  
 企業及び大学との生物医学分野における知的財産の開発及び販売を目的とした提携  
 設立 2008年2月19日  
 資本金 2,256百万円  
 従業員 67名(連結)  
 連結子会社 テムリック株式会社

## 役員 (2022年3月25日現在)

代表取締役 武内 博文 監査等委員 石井 幸佑  
 取締役 土屋 裕弘 監査等委員 柿沼 佑一  
 取締役 須藤 正樹 監査等委員 宇津 恵  
 取締役 宇都 克裕

## よくあるご質問

四半期決算説明会オンライン配信の際や、当社ホームページからのお問い合わせ等におきまして、日頃より数多くの株主様よりご質問を頂戴しております。お寄せいただいたご質問・ご要望の一部につき、回答させていただきます。

**Q1** 赤字体質から脱却して安定的に黒字化できると考えてよいですか？

ロイヤルティ収入の安定化により当社の財務基盤は大きく改善しました。2022年度からの3カ年も黒字確保の計画です。ただし、黒字化維持のみにこだわることなく、企業価値の飛躍的な向上に資する投資については積極的に検討してまいります。

**Q2** 配当等の株主還元を教えてください。

企業価値の最大化に最優先で取り組まますが、黒字確保による財務基盤強化に応じて株主配当の実施を検討したいと考えております。自己株式の取得についても機動的に検討いたします。

**Q3** テゴプラザンの臨床薬理試験を実施する狙いはなんですか？

日本における臨床開発のスピードアップと費用等の効率化を目指しています。PMDAや導出先候補企業様ともしっかりと協議し、国内導出のドライバーとしたいと考えております。

**Q4** 研究開発の「戦略的提携」の具体化は進んでいますか？

現在は主に創薬研究力の強化に向けて提携先の探索を進めているところです。AI・インフォマティクスや新規モデル等々の創薬技術の導入のほか、企業価値の飛躍的な向上に必要な場合にはM&Aにつきましても検討してまいります。

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会の基準日 毎年12月31日 期末配当金の基準日 毎年12月31日 なお、中間配当を実施するときの基準日は6月30日です。 その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話番号 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日・祝日を除く) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。
(インターネットホームページURL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
単元株式数	100株
証券コード	4579
上場取引所	東京証券取引所 JASDAQ(グロース)
公告方法	電子公告を当社ホームページにて行います。 やむを得ない事由による場合は日本経済新聞に掲載し、 公告いたします。(https://www.raqualia.co.jp/)

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先については、株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。


## 株主のみなさまの声を聞かせください


当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力を願いたします。(所要時間は5分程度です)


- ①下記URLにアクセス
- ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

 <https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4579

…… 以下の方法でもアンケートにアクセスできます ……

 検索窓から

 [kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp) ←こちらへ空メールを送信  
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

 スマートフォンから  
カメラ機能でQRコード読み取り→  
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に  
到着してから約2ヶ月間です

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を呈呈させていただきます



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの  
提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

<https://www.link-cc.co.jp>

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: [info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com)

(2201)

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、みなさまに当社を知っていただくため、最新の各種情報を発信しております。是非ご覧ください。

<https://www.raqualia.co.jp/>



TOPページ



IRページ



ラクオリア創薬株式会社

〒450-0003

名古屋市中村区名駅南一丁目21番19号 名駅サウスサイドスクエア8階



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。